

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) トウキョウケイザイダイガク	フリガナ) ゲンダイホウガクブ	フリガナ) ハシヅメゼミナール
東京経済大学	現代法学部	橋爪ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) チームタキハラ	フリガナ)	4	無
チーム瀧原	瀧原 脩斗		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)
無し

研究テーマ (発表タイトル)
ひとり親家庭の支援

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

現在の日本には 146.1 万世帯のひとり親家庭が存在している。その多くの家庭には、生活面、経済面、教育面での悩みがあるため、ひとり親家庭への支援が必要だと考えた。その悩み一つ一つに着目し私たちは、空き家を使った HAPPY SHAREHOUSE と学生による HAND in HAND を提案する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

厚生労働省の調査によると、ひとり親家庭の悩みとして「相談相手がほしい」・「仕事と育児の両立が困難」・「収入が低い」・「子供の精神面に対する不安」などが挙げられる。相談相手がほしいと思っているひとり親は、67%と過半数を超えている。母子家庭の平均年収は 181 万円、父子家庭の平均年収は 360 万円となっているが、一般家庭の平均年収は 550 万円と大きな差が生じている。また、子供の精神面の不安として、一人では父親母親両方の役割ができないため子供に気を使わせてしまうのではないかという不安があること調査で分かった。(厚生労働省)以上のことからひとり親家庭には様々な悩みが存在していることが分かった。このひとり親家庭の悩みを解決に近づけるためには、HAPPY SHAREHOUSE と HAND in HAND が必要だと考えている。

3. 研究テーマの課題

ひとり親家庭の様々な悩みを解決するため、私たちは HAPPY SHAREHOUSE と学生による HAND in HAND を提案する。まず HAPPY SHAREHOUSE とは空き家を使ったひとり親家庭用のシェアハウスである。このシェアハウスの特徴として①相談相手があいという悩みの解決②空き家を使うため家賃が安い③空き家問題の解決が挙げられる。HAND in HAND とは大学生が主体となってシェアハウスの子供に対して行う訪問サービスである。学生がシェアハウスなどに出向き、勉強やスポーツの楽しさを伝えると共にそれぞれの片親代わりとなり子供のアイデンティティを形成していくことも狙いとしている。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

先にも述べた HAPPY SHAREHOUSE と HAND in HAND により問題解決を図る。しかしひとり親家庭のシェアハウスはすでに存在している。それでも既存のシェアハウスは、家賃が高い(平均 7~9 万円)と問題点が多く発生している。そのため私たちが提案する HAPPY SHAREHOUSE は従来のひとり親シェアハウスとは違う、空き家を使ったシェアハウスを提案している。空き家を使う事によって家賃は半分以下に抑えることができようになり、既存のシェアハウスの問題も解決できるようになる。HAND in HAND では、大学生側がアプリに登録して、自分の得意とするものを子供たちに教育として提供できるように自分の希望に沿った仕事を見つける。(勉強・スポーツ・音楽など) このように、HAPPY SHAREHOUSE と HAND in HAND を融合させることによりさらにひとり親家庭の様々な悩みを幅広く解決することに期待ができる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは、ひとり親家庭に対しての現状を細かく調べた。これについては、文献(厚生労働省の調査など)を徹底的に参照することによって、必要な情報を収集することに務めた。

6. 結果や今後の取り組み

今後の活動としては、HAPPY SHAREHOUSE に関してはさらに不動産会社との連携を強め、より多くのひとり親世帯のシェアハウスの実現に努める。HAND in HAND のアプリ化の実現に力を入れ、スムーズに大学生と子供たちのマッチングが行えるようにする。

7. 参考文献

ひとり親家庭の現状と支援施策の課題について | 厚生労働省

2017/9/27<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/shien.pdf>

ひとり親家庭の現状 | 厚生労働省 2017/9/27

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000083324.pdf>

ひとり親世代の悩み 2107/9/12

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/bosui-setai06/02-b21.html>

年収ガイド「シングルマザー、母子家庭の年収」2017/9/12

codonaHAUS、母と子のシェアハウス 2017/9/12

<http://www.codomohaus.jp/>

統計局 HP 空き家などの住宅に関する多な指標の集計について 2017/9/12

<http://www.stat.go.jp/date/jyutaku/topics/topi861.html>

Weblio 辞書 2017/9/26

<http://ejje.weblio.jp/content/hand+in+hand>

Public DomainPictures.net (イラスト) 2017/9/27

<http://www.publicdomainpictures.net/stock-photos.php?hleda=dark+background>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください